



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



「豊かな子」を育むための学校力UPの実践

諫早市教育委員会指定 教育課程研究中間発表会

1月31日、教育課程研究中間発表会を開催しました。下校時刻の変更に対応いただき、ありがとうございました。

諫小では、学校目標にある「豊かな子」の育成に向けて、育てたい資質能力（ひあっしーの6つの能力）を見える化し、教育課程の中で意図的、効果的な指導の在り方について、研究を重ねています。

- 視点1 学校生活で育む：学校行事や学年経営の改善
- 視点2 2学期制で育む：7月、12月の平和、人権、命の重点指導
- 視点3 生徒指導で育む：生徒指導月目標の重点指導
- 視点4 地域とともに育む：幼保小連携、地域に開かれた教育課程の創造
- 視点5 特別活動で育む：諸活動の指導目標の明確化
- 視点6 学級経営で育む：構造的グループエンカウンター継続的实践
- 視点7 生活習慣で育む：生活リズムカードの取組 命の講演会の開催
- 視点8 授業で育む：学習規律、授業スタンダード、ノート指導



今回の中間発表会では、視点8「授業で育む」を2本の公開授業を通して、市内小・中学校の先生方に広くご意見を頂戴しました。

◆授業改善の仮説◆

算数科において、考えをまとめ、伝え合う活動を充実させれば、児童は数学的な見方・考え方を広げながら、思考力・判断力・表現力を豊かに高めていくであろう。

この仮説をもとに、子どもの問いが発生する課題提示の工夫や操作活動、図や絵などを用いて視覚に訴える工夫を行い、個人の思考を加速させます。また、自分の考えと友だちの考えを比較、解釈し合い、思考をより深化させていきます。個人思考、集団解釈、個人と集団の往還、再現思考の場を充実させていく取組で、数学的な思考力・判断力・表現力を高めていきます。

発表会では、3年1組「小数」、5年2組「割合」の授業を、棕尾教諭、小松教諭が指導しました。授業づくりで、諫小全教職員が意見を出し合いながら、よりいいものを求め続けてきたものです。子ども達の資質能力の育成に効果を上げる授業となりました。



次年度は、3か年の研究の最終年度にあたり、研究本発表大会を開催します。チーム諫

小の指導力、諫早小の学校力を更に高め、伸ばしていけるよう、研鑽を重ねていきたいと思ひます。諫早市の小学校の教育トップリーダーとしての自覚と責任をもって進んでいきます。すべては、諫小の子どもたちの健やかな成長、確かな学力の獲得、豊かな人間性の涵養のためです。

2月生活目標

※ひあっしー「自分の力で」の能力との関連



『寒さに負けずに、自分の力で体をきたえよう』

- 手洗い、うがいをしっかりやろう
- 窓の開閉を心がけよう
- ポケットに手を入れないで歩こう
- 体力づくりに取組もう

諫早市社会福祉大会 — 諫小地区社協 活動発表 —

1月23日飯盛コミュニティー会館で、第19回諫早市社会福祉大会が開催されました。

活動発表の部では、諫小地区社会福祉協議会の会長若杉さんと事務局長杉内さんの発表がありました。発表題は、「子どもの学びを育み、地域の絆をつなぐ」であり、夏休み中の**ラジオ体操**や**サマーキャンプ**、秋の**通学合宿**等の様子をくわしくお話されました。これからも、地域と子育て世帯がつながる機会を作っていきたいと意気込みもうかがうことができ、**諫小校区には、強力な子育て応援団の方々がたくさんおられる**ことを、とても嬉しく、有難く感じた大会でした。

諫小地区社協の皆様、これからもひあっし子を温かく、見守ってください。よろしくお願いいたします。



命を守る避難訓練

地震発生時の避難訓練を実施しました。いつなるとき起こるか分からない地震。命や落下物から体を守る術を、訓練（実践）を通して学びました。「**おかしも**」の合言葉を、行動で表せるように繰り返し、子どもたちと練習していきたいと思います。



あいさつ（人間関係形成力）の向上

『あいさつは、人と人をつなぐ架け橋』と言われていています。挨拶から、人と人との関わり合いがスタートするという事です。普段から**あいさつ**（例えば、「おはよう」）を交わし合いえるようになると、次に**問いかけ**（「今日は寒いね」「その帽子素敵だね」）が続くようになります。少しずつ、人間関係が深まっていきます。さらに、**打ち明け**（「あのね・・・」「ちょっと聞いてくれる」「・・・はどう思う」）が交わされるように、人間関係が更に深まっていきます。ここまでくると、二人の仲はれっきとした「友だち」になっており、いじめや仲間外しなど起こりうるはずはありません。



児童会で取り組んでいる「ワンストップ挨拶」も、実践できる子どもが、劇的に増えてきました。あいさつの意義を子どもたちに分かりやすく伝えながら、温かくつながり合う友だちとの仲を、あいさつから広げていってほしいと思います。